

CASE 3

川崎市生産性向上・働き方改革取組事例

Colors, Future!
川崎市

有限会社 カネハツ北部青果



COMPANY DATA

業種 青果仲卸業
事業内容 青果及びその加工品販売、配送業務
創業 1982年6月
代表者 代表取締役社長 門野 裕之
所在地 川崎市宮前区水沢 1-1-1 北部市場内
従業員数 12名（正社員8名 パート4名）

企業紹介

全国各地から生鮮食料品や加工品などが集積される川崎市中央卸売市場 北部市場で、40年近くも青果物の仲卸を営むカネハツ北部青果。病院やホテル、教育・福祉施設などを中心におよそ100件の取引先を持ち、日々新鮮な野菜や果物を届けている。青果品のプロならではの目利きや付加価値のある情報提供で、顧客から厚い信頼を獲得している。



▲伝票作成だけでなく、売上・入金・残高管理、月次計算など、以前はすべて手書・手計算で行われていた。



▲システム導入後は業務効率が大幅に向上。取引先指定の納品書にも柔軟に対応している。



▲業務の進め方に合わせて、必要な機能を精査。シンプルでわかりやすい、オリジナルのシステムを構築している。

“ 長時間労働の原因だった手書伝票を廃止し
ITシステム導入で業務に好循環が生まれた ”

仕入れ・在庫管理、売掛管理、請求書作成におけるITシステムの活用

1 経営課題 Task

以前は街の八百屋やスーパーを顧客としていましたが、近年街の八百屋の衰退が顕著になり、スーパーも薄利多売だったことから、取引先を増やすという経営方針に転換しました。数年で約100件もの取引先を得ましたが、販路が増えた分、以前のような手書・手計算の伝票処理では業務が追いつかないという新たな問題に直面。会社を良い状態で承継したいと考えていた門野氏は、経理処理を自動化するITシステムの導入を決めました。

2 取組概要 Approach

システムの導入にあたっては川崎市の補助を活用。計2台のパソコンを活用して多数の伝票処理を行えるようにしています。取引先によっては納品書のフォーマットが指定されていることもあるため、柔軟に対応できるよう細かな仕様もすべてオリジナルで開発し、機能性を高めています。また、導入はテスト期間を設けながら、パソコン作業に慣れた若い人の力を活用することで格段にスムーズになりました。

3 実施効果 Effect

システム導入前までは伝票などの事務処理は4人がかりで、午後2時半までかかっていましたが、導入後は2名で午前11時には終わることができています。人手が空いた分は青果品の発送業務などのフォローに回るなど、事務処理以外の業務も効率化。さらに伝票処理が早まることで配送の出発時間も早まり、営業部門の就業時間も短くなっています。また、手書のときに悩まされていた計算ミスもなくなり、すべての業務に好循環が生まれています。

成果1 1人あたりの1ヶ月の
労働時間削減（事務部門）
70時間削減／月

成果2 事務用品費用削減
15,000円／月

成功要因

- 時代に見合った状態での事業承継を目的にしたこと
- 自社の業務にあった機能性の付加
- パソコンに慣れた若い力の活用

事業承継への取り組みが、結果的に働きやすい環境づくりにつながった

システムを導入当初は具体的な効果を狙っていたわけではなく、私がやっていた作業も含め今の時代にあった処理に変えて、良い形で事業を引き継ぎたいと考えていました。導入後は、**事務処理のスピードが格段にあがり、数字も正確。結果的に生産性が上がり、従業員の労働時間も短縮につながりました。**川崎市の補助も受けながらトータルで200万円くらいはかかりましたが、実感としては安い投資だったと感じています。昔ながらのやり方を続けているところも多い業界ですが、時代もどんどん変わってきています。青果品の目利きや仲卸ならではの情報提供などはプロとしての仕事になりますが、**ITでできることは柔軟に取り入れて業務を効率化していきたい**と考えています。また、業務をシステム化することで、**今後は障がい者雇用などにも取り組んでいきたい**と思っています。

代表取締役社長 門野 裕之

社員の声

- 事務作業がとても楽になりました。作業時間が短縮されて早く帰れる上、給料は今まで同じ金額を維持してもらえているのでうれしいですね。
- 忙しいときは、午前1時から午後3時くらいまで働くこともありましたが、午前中にすべての業務が終了できるようになったのは大きいです。梱包や配達は大変な仕事ですので、体力的にも負担が減りました。
- 以前は伝票の数字に間違いがあると、再度お客様のところに訂正したものを届けていたましたが、そういった手間もなくなりました。お客様には手書きよりもわかりやすいと喜ばれています。

今後の展開

- ・事務処理のマニュアル化による作業効率のアップ
- ・障がい者雇用の推進
- ・スムーズな事業承継



経営者
INTERVIEW